

第41週の発生動向(2007/10/8~2007/10/14)

ヘルパンギーナについては、むつ保健所管内において第34週から**警報**が継続しています。

第41週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方・青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ															0				
(72) RSウイルス感染症	1	0.11					1	0.20					2	0.05	0			1	0.13
(73) 咽頭結膜熱	2	0.22	2	0.22									4	0.10	1			2	0.25
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.44	12	1.33	4	0.44	1	0.20	2	0.33	9	2.25	32	0.76	-20			4	0.50
(75) 感染性胃腸炎	11	1.22	8	0.89	3	0.33	4	0.80	3	0.50	17	4.25	46	1.10	-2	9	9.00	2	0.25
(76) 水痘	2	0.22	5	0.56	1	0.11	1	0.20	6	1.00	13	3.25	28	0.67	4			2	0.25
(77) 手足口病	18	2.00	10	1.11	6	0.67	9	1.80	5	0.83	1	0.25	49	1.17	-4	1	1.00	17	2.13
(78) 伝染性紅斑					2	0.22					1	0.25	3	0.07	-2				
(79) 突発性発しん	5	0.56	4	0.44	1	0.11	2	0.40	3	0.50	3	0.75	18	0.43	4			5	0.63
(80) 百日咳															0				
(81) 風しん											1	0.25	1	0.02	1				
(82) ヘルパンギーナ	5	0.56	1	0.11	1	0.11	1	0.20			15	3.75	23	0.55	-16			5	0.63
(83) 麻疹(成人を除く)															0				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.44	1	0.11	1	0.11							6	0.14	-3			4	0.50
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					1	0.50			1	0.50			2	0.18	-3				
(95) マイコプラズマ肺炎					1	1.00					3	3.00	4	0.67	-2				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注: 結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、八戸3人 (19年計:132人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 弘前1人 (19年計: 36人)
- (39) 日本紅斑熱(四類全数把握疾患): 八戸1人 (19年計: 1人)

感染症の窓

日本紅斑熱

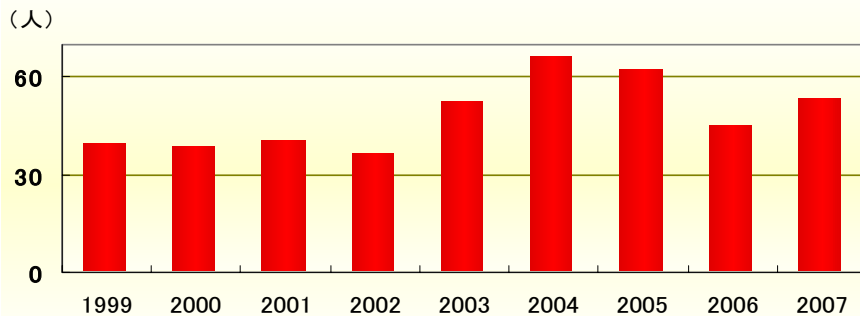


図1 全国における届出数推移(1999年-2007年)

注: 2007年は第39週までの速報値です

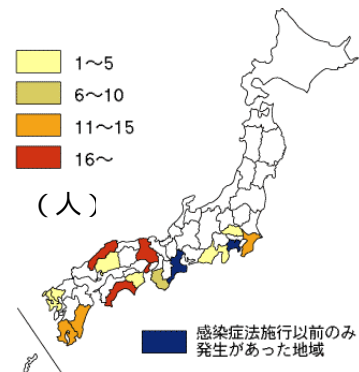


図2 全国都道府県別発生数(1999-2001)

本疾患は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ(キチマダニ、フタトゲチマダニなど)に刺されることによって発症する感染症で、夏から秋にかけて発生が見られます。1999年以降の届出数は、年々増加し、2004年には60人を超え、2007年第39週では53人の届出数です(図1)。西日本~関東の温暖な地方で発生することが知られていますが(図2)、第41週、青森県において、関東以北で初めて、1人の患者届出がありました。症状は、ダニに刺された2~8日後に、**高熱、発疹、刺し口**、手足や手のひらに多数あらわれる**紅色の斑丘疹**などです。リケッチアによるダニ媒介性感染症であるつつが虫病に比べ、DIC(播種性血管内凝固症候群)多臓器不全などを引き起こし重症化する頻度は高いですが、有効な薬剤(テトラサイクリン系など)があることから早期に適切な治療を開始することが重要です。予防は、山林や川の近くなどでかけるときには、**ダニに刺されないような服装**(長袖、長ズボン、手袋などを着用)で出かけ、**地面には、直接腰を下ろさず**敷物などの上に座りましょう。